

# レクリエーショナル・スポーツによる 大学改革 ～神奈川大学をモデルに～

神奈川大学

大竹ゼミ チームH

狐塚 宏美

村田幸平

前田 真之介

秦 亮一

# 目次

- 緒言            研究背景
- 現状            神奈川大学 スポーツ活動に関する調査
- 提言            大学体育改革に向けた具体策
- まとめ
- 文献・参考資料

# 緒言

## 2018年問題

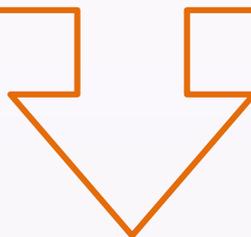
- 大学進学者 約17万人の減少  
(2018年→2032年)
- 学生確保困難 大学の経営危機

学生の学び・成長の場として  
魅力ある大学への変革が求められる



# 日本の大学スポーツ・体育授業

- 大学スポーツ＝部活動・体育授業  
一般学生がスポーツに参加できる機会 少
- 体育授業＝“教わる”  
出来る・出来ないの差が運動嫌いへつながる



生涯の運動習慣を形成する環境 ✕

# 事例:アメリカ

## レクリエーショナル・スポーツプログラム(RSP)

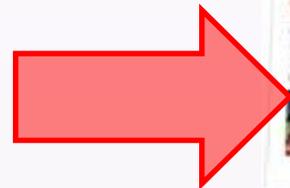
学業と平行して行われる様々なスポーツ活動

### メリット◎

学業にも好影響を与える  
コミュニケーション力の向上  
健康で豊かなライフスタイルの構築  
リーダーシップの獲得



楽しむ  
スポーツの  
習慣化



生涯の  
運動習慣

日本でも目指される大学スポーツの姿

## ◇ 横浜キャンパスの概要

### ・学生数

14,136名 (男10,172名 女3,964名)

### ・全5学部/18学科

法学部・経済学部・工学部

外国語学部・人間科学部

### ・部活動

陸上競技部・駅伝ブロック 箱根駅伝出場

硬式野球部 全日本大学野球選手権 準優勝

水泳部 日本学生選手権 女子総合5位

### ・体育授業 (実技)

スポーツ競技・文化 健康科学とスポーツ



# 現状

神奈川大学のスポーツ活動に関する調査

(学生課・健康科学スポーツセンターへのヒアリング調査より)

## 1, 神奈川大学(横浜キャンパス)のスポーツ活動について

### 体育会系部活動 大学支援有り



- 体育会部活動総数: 42団体
- 在籍者数: 約850名
  
- 援助金の交付
- 指定強化部: 18団体 → 更なる支援

### サークル活動 一般学生 大学支援無し



- スポーツ系団体総数: 46団体
- 在籍者数: 約1800名
  
- 資金援助無し
- 学内施設の利用は  
限られた時間のみ(昼休み等)

## 2, スポーツ施設の使用状況

### 横浜キャンパス スポーツ施設 (6ヶ所)

体育館・人工芝グラウンド

ゴルフ練習場・テニスコート

室内プール・トレーニングセンター



### 〈使用状況・平日〉

#### ・グラウンド

| 時間帯  | 利用   |
|------|------|
| 朝    | 部活動  |
| 1～2限 | 授業   |
| 昼休み  | 自由利用 |
| 3～4限 | 授業   |
| 5限以降 | 部活動  |



現在の大学スポーツ



「体育会系部活動」により確立

**スポーツの場**

**全学生に公平に開かれるべき!!**

**楽しむことを最大の目的とした  
活動が行われるべき!!**

# 提言

これからの大学スポーツ

全学生がスポーツ活動を楽しむことができる

新しい体育授業を提言!!

- (1) レクリエーショナル・スポーツ統括組織の設置
- (2) スポーツ活動の単位化
  - ↳ 学内プログラム・学外プログラム

## 提言目標

神奈川大学 在学の全生徒の  
「週2回・90分以上のスポーツ活動」  
が確保され  
質の高い大学生活を送る

体育授業の改革!!

学内でのレクリエーショナルスポーツプログラム  
×  
学外での様々なスポーツ活動

# 提言(1)

## レクリエーショナル・スポーツ 統括組織の設置

### KUレクスポ

マネジメント責任者  
体育教職員・学生課職員  
学生スタッフ

#### 学生管理

- ・専用webアカウントの活用
- ・プログラムエントリー、参加確認
- ・情報発信

#### 施設管理

- ・学内スポーツ施設の一括管理
- ・部活、授業との利用時間区分

#### プログラム 企画

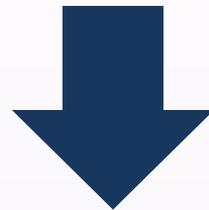
- ・レクリエーショナルスポーツ  
企画、運営及びリーグ戦の開催

#### 外部交渉

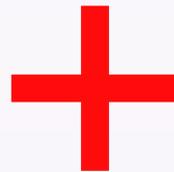
- ・外部団体との連携を構築
- ・マネジメント責任者のもと  
様々な交渉を実施

# 提言(2)

## スポーツ活動の単位化 (体育授業)



学内スポーツプログラム



学外スポーツプログラム

# ・スポーツ活動の「単位化」

## 【単位認定基準】

**90分 × 週2回 × 15週(半期)=1単位**

- ① 1～3年次において、各学年2単位(合計6単位)必修化
- ② 4年次では、選択制 4年間で計8単位を上限とする
- ③ 学内・学外プログラム同様に1コマ換算
- ④ 学外プログラムへの参加証明 学生証・参加証明書の提示が必須
- ⑤ 大学提携施設以外でのスポーツ活動も換算対象とする場合もある

# ・学内プログラムについて

|   | 月       | 火       | 水      | 木    | 金      | 土日   |
|---|---------|---------|--------|------|--------|------|
| 1 | アクアウォーク |         | リーグ戦   | ○    | バトミントン | リーグ戦 |
|   | フットサル   | アルティメット |        |      | フットサル  |      |
| 2 | ○       |         | ○      | バスケ  | バレー    |      |
|   |         | バレー     |        |      | 野球     |      |
| 3 | リーグ戦    | 水泳教室    | バトミントン | ○    | リーグ戦   |      |
|   |         | ゴルフ     | サッカー   |      |        |      |
| 4 | ○       |         | バレー    | ラクロス | 野球     |      |
|   |         | バスケ     | サッカー   |      |        |      |

## 学内プログラム活動例

- ・レクリエーション性が強いプログラムを用意
- ・様々な種目のリーグ戦を開催
- ・体育授業(教員養成カリキュラムを除く)は全てこれに置き換えるものとする
- ・学生 → 時間・種目を自由に選択、自主的に活動

**レクスポ単位  
1コマ**

・学外プログラムについて  
全学生のスポーツ環境の整備

する

スポーツの  
関わり方

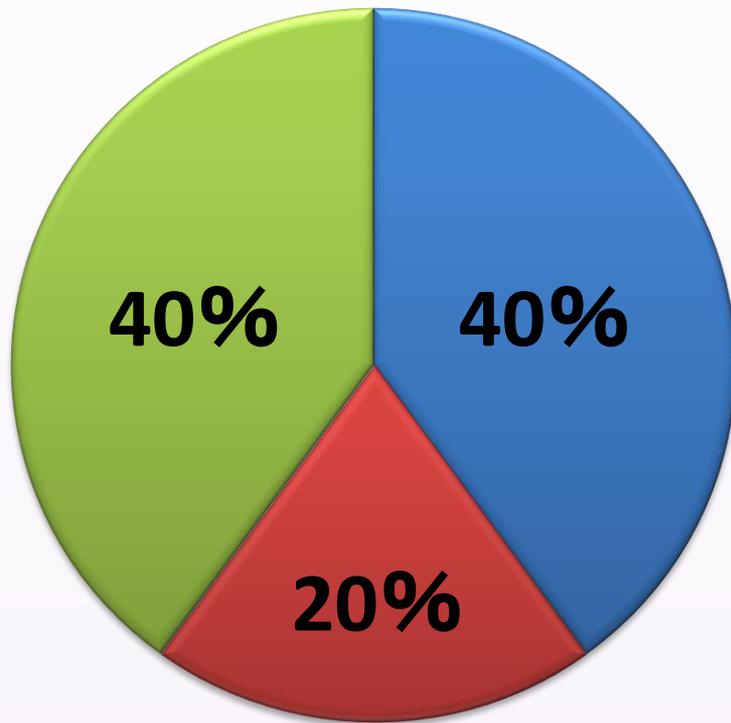
観る

支える

- ①近隣フィットネスクラブとの提携
- ②公共施設との提携
- ③地元プロスポーツクラブとの提携
- ④地域支援

# 学外プログラムにおける注意点

- 学内・学外プログラムそれぞれの活動上限



- 学内・学外「する」活動
- 学外「観る」活動
- 学外「支える」活動

## ①近隣フィットネスクラブとの連携

- 「コナミスポーツクラブ横浜」「TIPNESS横浜」「カーブス六角橋」「Jexerフィットネスクラブ横浜」「ヨコハマフィットネス」と提携
- 学生一人当たり 月額5,000円で利用可能
- 大学は、半額2,500円を負担



### 〈活動例〉

- ウェイトトレーニング+ランニング
  - スタジオプログラム 参加
- 原則一回90分以上の利用

## ②公共施設との連携

- 横浜市各区のスポーツセンターと提携
- 学生が施設においてスポーツ活動が行え、各種プログラムへの参加も可能とする
- トレーニング室等、利用の割引を行う

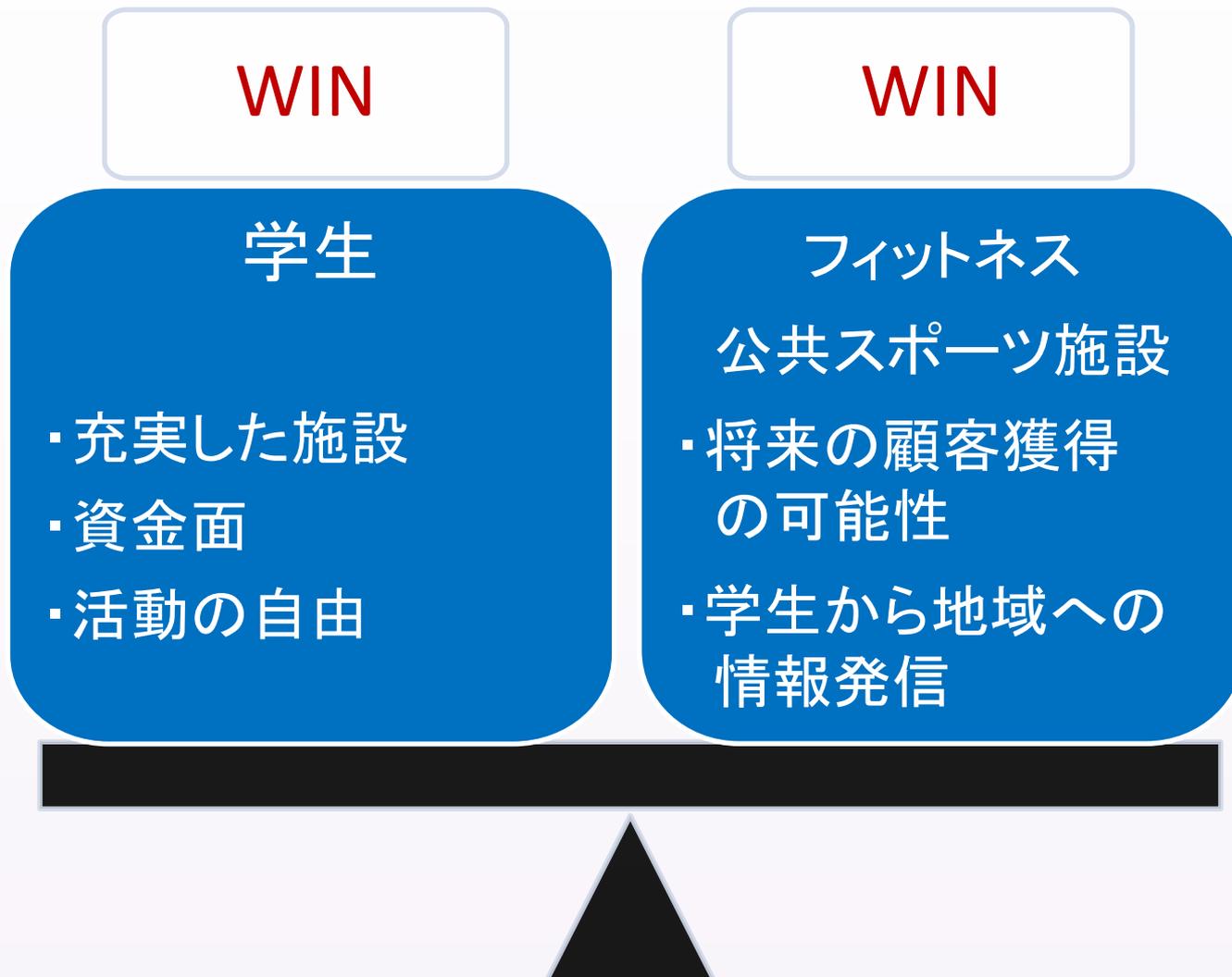


### 〈活動例〉

- 施設でのトレーニング
- その他スポーツ活動  
原則一回90分以上の利用
- 地域でのスポーツボランティア

## ①近隣フィットネスクラブとの連携

## ②公共施設との連携



### ③地元プロスポーツクラブとの連携

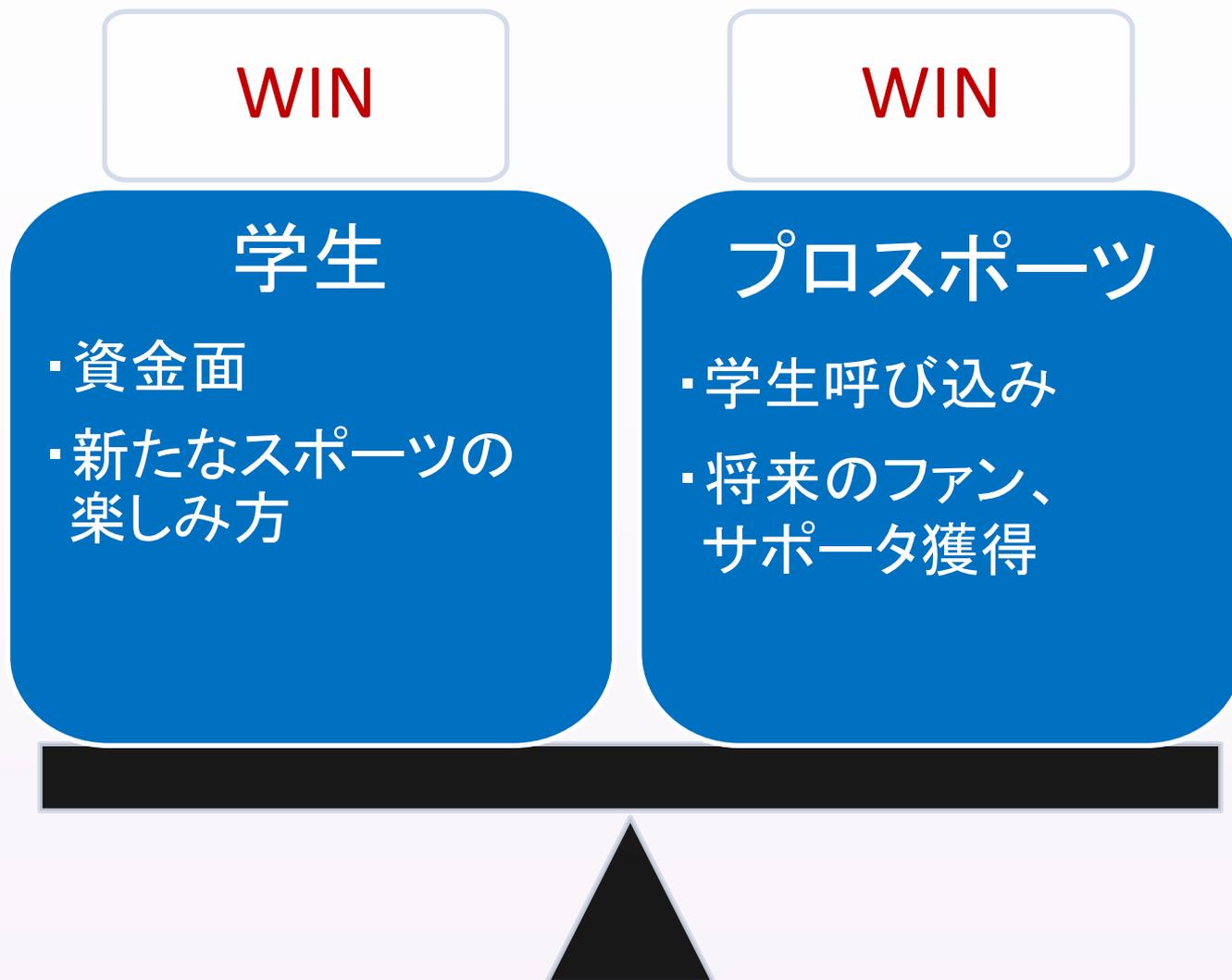
- 「横浜F.マリノス」「横浜FC」「横浜DeNAベイスターズ」「横浜ビー・コルセアーズ」との提携
- 試合観戦 1試合ワンコイン(500円)で観戦可能に



#### 〈活動例〉

- 1試合(約90分) 試合観戦
- 会場ボランティアスタッフ
- クラブ事業のボランティア参加

### ③地元プロスポーツクラブとの連携



## ④地域への支援活動プログラム

- 「NPO法人 かながわクラブ」「はざわクラブ」  
「NPO法人 横浜かもめanimaクラブ」「まる倶楽部」  
「NPO法人 ライフネットスポーツクラブ」との提携
- 各団体に学生を派遣し、  
ボランティア活動・プログラムへの参加



### 〈活動例〉

- ・クラブ開催のスポーツ  
プログラムへの参加
- ・クラブ事業のボランティア  
スクール指導 etc...

## ④地域への支援活動プログラム

WIN

学生

- ・新たなスポーツの在り方を学べる
- ・地域と繋がりを持ち新たなコミュニティ形成へつながる

WIN

総合型クラブ

- ・活動が活気づく
- ・大学へ情報発信  
→活動のPR

| 月            | 火  | 水              | 木  | 金             | 土           | 日           |
|--------------|----|----------------|----|---------------|-------------|-------------|
| 2015 5月 May  |    |                |    | 1             | 2           | 3<br>プロ野球観戦 |
| 4<br>フィットネス  | 5  | 6              | 7  | 8<br>学内 バスケット | 9           | 10          |
| 11           | 12 | 13<br>スポーツセンター | 14 | 15            | 16<br>ボクシング | 17          |
| 18<br>フィットネス | 19 | 20             | 21 | 22            | 23          | 24          |
| 25<br>フィットネス | 26 | 27             | 28 | 29            | 30          | 31          |

楽しむ  
スポーツの  
習慣化



生涯の  
運動習慣

自分の好きな活動を好きな時にchoice!!  
週2回・90分以上のスポーツ活動が実現

# まとめ

- 体育授業が学生の学び・成長の場へ
- 神大生に生涯を通じた運動習慣を
- 政策の実現に向けて・・・  
企画・組織マネジメント能力を持った人材が不可欠

# 参考文献

・小倉 乙春(2013)

学生支援としての学内レクリエーション・スポーツ: 米国事例を中心とした報告

<https://www.google.co.jp/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=web&cd=1&cad=rja&uact=8&ved=0CB8QFjAA&url=http%3A%2F%2Fci.nii.ac.jp%2Fnaid%2F130003386133&ei=74pNVN X5J8Hz8QXpr4K4CA&usg=AFQjCNE-J2ubo69tyY8Vy-Kk0nK3sk0A0g&bvm=bv.77880786,d.dGc>

・神奈川大学HP

<http://www.kanagawa-u.ac.jp/>

・神奈川大学HP 「課外活動」

<http://www.kanagawa-u.ac.jp/campuslife/activities/>

・文部科学省HP 教育 「大学・大学院・専門学校」

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/01\\_d.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/01_d.htm)

ご清聴ありがとうございました

